

道路壁面 効率的に緑化

垂直壁に種子吹付け

EGD工法 販売店の募集開始

東横テクノプラン

道路立体交差の緑化イメージ



辺地域の景観や季節に合わせ、植栽苗木や草花などの交換が容易にできる。

東横テクノは84年11月設立の研究開発ベンチャー企業。各都道府県に1社の割合で契約した販売代理店に対し、開発した新技術・資材の販売

建設資材の研究開発ベンチャーの東横テクノプラン(山梨県南都留郡鳴沢村、坂本伸之社長)は、用途や目的に応じた垂直壁に緑化デザインを創造できる壁面緑化デザイン工法「エコグリーン&デザイン」(EGD工法)。(特許出願中)を開発し、土木構造物や建築物への緑化推進活動を行なう代理店・施工店や、一般消費者を対象に販売活動を行なう販売店の募集を27日から開始した。同工法は道路壁面緑化を効率的で効果的に実施する工法として注目されており、目標シェアを全国ベースで30%に置くほか、売上高は初年度約10億円、3年後30億円をめざす。

EGD工法は、壁面緑化で一般的に使用されているツタ植物類だけでなく、常緑植物(ササ類・セダム類など)や鑑賞用草花などの植物を壁面に

発現。また、苗木植栽工法の場合、工事が終わった直後からの即効性を期待できる。いずれの場合も、緑化比率が高く、従来工法とは異なり早期に緑化効果を発揮する。価格は1平方メートル当たり材料・工事を含めて2万9000円から3万9000円。

観の向上効果などを期待できる。同省は7月3日付けで同工法を新技術情報提供システム(NETIS)に登録し、行政サービスでは同日付けで公開している。

施工垂直面を45度の傾斜板状部材で細分化し、植生基盤材を平面に近い状態で維持する緑化ユニット(例)縦900×横

1800×140(ミ)を使用する。道路壁面や遮音壁、壁高欄、高架橋の橋脚など土木構造物の壁面に加え、建築物の壁面、工場、緑化フェンス、マンションのバルコニーや戸建て住宅のエクステリアの緑化も可能。緑化ユニットは特殊構造をしており、降雨時の集水機能、晴天時の蒸発抑制機能がそれぞれあり、かん水装置の省力化を図ることができる。周囲

植栽し、育成する工法。従来は不可避とされていた垂直壁に種子の吹付けによる緑化も可能なことから、国土交通省が道路環境の向上策の一環から推進中の道路壁面緑化を効率的で効果的に実現する。種子吹付け(充てん)工法の場合は被覆期間として2〜3か月後に効果を